

令和4年度全国学力学習状況調査の結果分析等について

学校名	秦野市立末広小学校
-----	-----------

1 調査結果の分析と考察

本校の特徴	本校の課題
(1) 国語については、文の中で基礎的な漢字を正しく使うことができています。また、物語を読み人物像や全体像を想像することや、話し合いの中で互いの立場や意図を明確にしなが、自分の考えをまとめることなどは概ね身につけています。	(1) 国語については、物語などの中で、叙述や描写を基に登場人物の行動や気持ちやその相互関係について捉えることに課題が見られます。また話し合いの中で、書き言葉と話し言葉の違いや言葉が持つつながりを作る働きへの理解に課題が見られます。
(2) 算数については、基礎的な乗法や除法などの計算や文章題から解を求めるものについての理解はある程度できています。また、数量が変化しても割合が変わらないことについても一定の理解ができています。	(2) 算数については、百分率と分数の関係や表やグラフなどから必要なデータを読み取ることに課題が見られます。また図形の構成要素については一定の理解ができていますが、プログラムと関連して考えることには課題が見られます。
(3) 理科については、観察や実験で収集された記録から情報を把握し、その結果を分析して自分の考えをもつことや正しい考察を記述することについては一定の力を身につけています。	(3) 理科については、昆虫の体のつくりやその食べ物などの理解や、実験器具の名称や使い方などの理解に課題が見られます。また、実験について過程や得られた結果を適切に記録し方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことには課題が見られます。

2 昨年度の取組の分析と考察

(1) 学校目標として「誰もがわかる授業」を目指し、基礎基本の定着を主眼に取り組んできましたが、まだまだ、基礎基本のしっかりとした定着が得られていない部分があると感じています。ICT教材などの効果的な活用も図ってきましたが、児童が主体的に力をつけようとする意識の醸成においてまだまだ足りない部分があったと考えています。
(2) 校内研究において「自分の考えを伝え合って、学びを深める子の育成」をテーマに、話し合い活動の場の工夫をする中で考えの交流を重視してきました。その中で、自らの考えをさらに高める取り組みを進めてきましたが、コロナ禍の中で活動を行うことが十分にできず、考えを高める・深めるというところまで迫れなかったと考えています。
(3) 定期的な学年交流活動や異学年交流活動など、様々な活動を通し自己肯定感の育成に取り組んで来ましたが、コロナ禍で感染症対策を最優先で実施してきたため、趣旨に合う活動が十分に実施できなかったと感じています。そのため自己有用感、他者肯定感の醸成が十分に図られなかったと考えています。

3 教育水準の改善向上に向けた次年度の取組の方向性について

(1) 今後、児童一人ひとりの思いを大切に主体的に学習に取り組むことができるよう、身近な題材を取り入れた発問や学習課題の設定の工夫などを通して、各教科に対する興味や関心を高める授業展開の方法などを工夫していく必要があると考えています。また自ら創造的に考えを広げていくことができるよう、思考の時間を十分に確保していくことに取り組んでいきたいと思ひます。
(2) 校内研究の一層の充実を図り、学習課題を身近な課題としてとらえることができるような課題設定の工夫をするともに、児童が自分の考えをしっかりと持つ個の時間を確保し、その考えを主体的に表現する場面を工夫し設定していきます。さらに自らの考えを他の人と交流する機会を設定し、その中でより良い考えを持つことができるような授業展開を図っていきます。
(3) ICT機器について、教職員が授業で活用するだけでなく、児童が自分の考えを表現するためのツールとして、自発的に活用場面を考え、学習活動の中で活用できるようにしていくことが大切だと考えています。そのために、情報モラル教育を推進するとともに、ICT機器がより身近なものと感じることができるようにするため、教科学習はもとより道徳や学級活動、総合的な学習の時間などの中で積極的な取り組みを進めていきたいと考えています。

4 家庭・地域の方へのメッセージ

質問紙調査から、基本的な生活習慣が身に付いていることが分かります。ご家庭での御支援のおかげかと思ひますので、引き続き「早寝・早起き・朝ごはん」の定着など基本的な生活習慣についてのお声がけをよろしくおねがひいたします。また、やると決めたことをやり遂げる気持ちや挑戦する気持ちを持った子どもたちですので、学校でもその気持ちに寄り添い伸ばしていきたいと考えていますが、ご家庭におかれましては前向きなお声がけをお願いできればと思ひます。ICTの活用については、機器の使い方など約束を守って使っていることが伺えますが、まだ学習への活用ということでは十分でないようです。今後より一層の取り組みを進めていきたいと考えておりますので、そのための環境づくりやお声がけ等のご協力をいただければ幸いです。
